



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 ロート製薬株式会社

コード番号 4527

URL <http://www.rohto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉野俊昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長 (氏名) 斉藤雅也

(TEL) (06)6758-1211

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	64,590	9.9	7,414	31.7	7,749	30.4	4,523	31.2
25年3月期第2四半期	58,757	5.5	5,628	10.7	5,940	8.9	3,448	15.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 7,493百万円(212.2%) 25年3月期第2四半期 2,400百万円(4.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	38.47	38.31
25年3月期第2四半期	29.33	29.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	155,624	100,206	63.8
25年3月期	150,643	93,771	61.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 99,276百万円 25年3月期 92,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		8.00		9.00	17.00
26年3月期		9.00			
26年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,500	11.1	17,300	20.3	17,400	18.1	10,600	31.1	90.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は添付資料6ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	117,929,250株	25年3月期	117,924,768株
26年3月期2Q	333,803株	25年3月期	333,543株
26年3月期2Q	117,593,017株	25年3月期2Q	117,590,222株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 平成26年3月期の個別業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	84,500	2.1	12,500	7.6	13,100	8.0	7,900	32.0	67.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	6
3. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)
平成26年3月期 第2四半期累計期間	64,590	7,414	7,749	4,523
平成25年3月期 第2四半期累計期間	58,757	5,628	5,940	3,448
増減率 (%)	9.9	31.7	30.4	31.2

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済政策への期待やそれに伴う円安、株高傾向を背景に回復の兆しが見えつつありますが、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

一方、海外におきましては、米国は財政面に不安を残しつつも緩やかな回復基調が持続しましたが、欧州債務危機や新興国の成長鈍化など経済の減速の影響により、総じて厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは顧客志向の新製品開発やマーケティング活動により新規分野への展開を図るとともに、既存分野におきましても高付加価値の製品を開発し、市場の活性化に努めてまいりました。

その結果、売上高は645億9千万円（前年同期比 9.9%増）となりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費の増加があったものの、売上が堅調に推移したことにより、営業利益は74億1千4百万円（同 31.7%増）、経常利益は77億4千9百万円（同 30.4%増）、四半期純利益は45億2千3百万円（同 31.2%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

		売上高（外部顧客に対する売上高）			
		第2四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
		前連結会計年度 (百万円)	当連結会計年度 (百万円)		
報告 セグ メン ト	日本	42,701	43,671	969	2.3
	アメリカ	2,428	2,929	501	20.7
	ヨーロッパ	1,835	2,243	408	22.2
	アジア	10,898	14,788	3,890	35.7
	計	57,863	63,633	5,769	10.0
その他		893	957	63	7.2
合計		58,757	64,590	5,833	9.9

(日本)

外部顧客への売上高は、436億7千1百万円（前年同期比 2.3%増）となりました。

二の腕や太もものぷつぷつ・ざらざらの治療薬「メンソレータム ザラプロ」をはじめとしたスキンケア医薬品や、年齢を重ねるごとに気になる男のニオイを徹底ケアするデオドラントスキンケアブランド「デ・オウ」が好調に推移いたしました。また、9月に発売した次世代型プラチナとコラーゲンネットワークに着目し、エイジングに立ち向かう新しい基礎ケアシリーズ「オバジ アクティブサージ プラチナイズド」シリーズをはじめとする「オバジ」ブランドも好調に推移いたしました。

一方で「肌研（ハダラボ）」につきましては、8月に発売した「極潤（ゴクジュン）3D形状還元ゲル」やリニューアル発売した「極潤（ゴクジュン）α」シリーズが好調に推移したものの、今年3月の全面的な刷新による一時的な出荷反動減もありブランド全体としては減収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、販売促進費等が増加しましたが広告費の効率的

な活用により、55億6千9百万円（同 22.9%増）となりました。

（アメリカ）

外部顧客への売上高は、29億2千9百万円（前年同期比 20.7%増）となりました。

米国経済においては、個人消費の堅調な推移により緩やかな回復傾向が見られたものの、市場競争の激化により、厳しい経営環境が続いております。このような状況のもと、スキンケア関連で主力製品の「ソフトリップ」が減収となり、現地通貨ベースでは減収となったものの、為替換算の影響により増収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、販売費及び一般管理費の増加により、2億3千7百万円の損失（前年同期のセグメント損失は4千6百万円）となりました。

（ヨーロッパ）

外部顧客への売上高は、22億4千3百万円（前年同期比 22.2%増）となりました。

ヨーロッパは債務危機の影響により景気の回復が遅れる中で、現地通貨ベースでも若干の増収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、広告費及び販売促進費の効率的活用にも努めたこと等により3億3千6百万円（同 143.7%増）となりました。

（アジア）

外部顧客への売上高は、147億8千8百万円（前年同期比 35.7%増）となりました。

中国をはじめアジアへの積極展開を進めている「肌研（ハダラボ）」や、男性用化粧品「メンソレータム メン」、日やけ止め「サンプレイ」などのスキンケア関連が好調に推移し、増収に寄与いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、広告費及び販売促進費の増加があったものの、増収が寄与したことにより16億2千3百万円（同 64.7%増）となりました。

（その他）

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客への売上高は、9億5千7百万円（前年同期比 7.2%増）となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、5百万円（同 92.2%減）となりました。

参考：製品（サービス）別の売上状況

製品（サービス）別の売上状況は以下のとおりであります。

	売上高			
	第2四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	前連結会計年度 (百万円)	当連結会計年度 (百万円)		
アイケア関連	12,338	12,642	304	2.5
スキンケア関連	36,824	42,225	5,400	14.7
内服・食品関連	7,644	8,057	413	5.4
その他	1,950	1,664	286	14.7
合計	58,757	64,590	5,833	9.9

（注）上記の金額には消費税等は含まれておりません。

( 2 ) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は1,556億2千4百万円となり、前連結会計年度末より49億8千1百万円増加しました。これは、受取手形及び売掛金が57億6千2百万円減少した一方、現金及び預金が46億5千3百万円、投資有価証券が21億3千3百万円、商品及び製品が19億5百万円、有形固定資産が11億7千4百万円増加したこと等によるものであります。

負債総額は554億1千7百万円となり、前連結会計年度末より14億5千3百万円減少しました。これは、支払手形及び買掛金が10億4千4百万円増加した一方、未払費用が22億9千2百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては1,002億6百万円となり、前連結会計年度末より64億3千4百万円増加しました。これは、利益剰余金が34億6千5百万円、為替換算調整勘定が20億4千6百万円、その他有価証券評価差額金が9億2千7百万円増加したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。 )は、前連結会計年度末に比べ46億5千3百万円増加し、245億2千万円となりました。

( 営業活動によるキャッシュ・フロー )

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、80億6千8百万円と前年同期に比べ15億6百万円増加しました。これは、税金等調整前四半期純利益が76億3千3百万円あり、キャッシュ・フローの増加要因である売上債権の減少額が64億4百万円、減価償却費が27億5千4百万円あった一方、キャッシュ・フローの減少要因である法人税等の支払額が30億4千8百万円、たな卸資産の増加額が23億9千6百万円あったこと等によるものであります。

( 投資活動によるキャッシュ・フロー )

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、35億2千8百万円と前年同期に比べ16億5千8百万円減少しました。これは、有形固定資産の取得による支出が30億7千4百万円、投資有価証券の取得による支出が12億7千2百万円、長期貸付けによる支出が10億6百万円あった一方、投資有価証券の売却による収入が21億3千4百万円あったこと等によるものであります。

( 財務活動によるキャッシュ・フロー )

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、9億3千万円と前年同期に比べ16億7千8百万円減少しました。これは、配当金の支払額が10億5千8百万円、長期借入金の返済による支出が7億2千8百万円あった一方、短期借入金の純増加額による収入が7億4千3百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
平成26年3月期	143,500	17,300	17,400	10,600
平成25年3月期	129,146	14,380	14,730	8,087
増減率(%)	11.1	20.3	18.1	31.1

当第2四半期連結累計期間の業績は、厳しい環境の中、増収増益を確保することができました。しかしながら、現在の経済状況は、日本において景気回復の兆しが見えつつありますが、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、海外におきましては、新興国の成長鈍化など経済の減速の影響により、厳しい状況を見込んでおります。

このような状況のもと、当社グループはさまざまな事業環境の変化に対応し、さらなる事業の拡大と業績向上に向けて、お客様ニーズの変化に的確に対応した新製品、新ブランドを創出するとともに、幅広い企業との連携を図るなど様々な改革に挑戦してまいります。

通期の業績につきましては、平成25年5月15日に公表した業績予想の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を上方修正いたします。

なお、通期の連結業績予想に用いた為替レートは〔98円＝1USドル〕と前回公表時から変更しております。

上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,868	24,521
受取手形及び売掛金	31,896	26,133
商品及び製品	11,397	13,302
仕掛品	1,480	1,577
原材料及び貯蔵品	6,579	7,421
その他	6,300	6,638
貸倒引当金	56	94
流動資産合計	77,467	79,501
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,965	20,392
機械装置及び運搬具(純額)	10,389	10,632
その他(純額)	14,403	14,908
有形固定資産合計	44,758	45,932
無形固定資産		
のれん	766	670
その他	1,241	1,356
無形固定資産合計	2,008	2,027
投資その他の資産		
投資有価証券	18,537	20,670
その他	8,541	8,493
貸倒引当金	670	1,001
投資その他の資産合計	26,408	28,162
固定資産合計	73,175	76,122
資産合計	150,643	155,624
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,151	11,196
短期借入金	5,611	6,364
未払費用	19,133	16,841
未払法人税等	2,914	2,640
賞与引当金	1,979	1,943
役員賞与引当金	30	15
返品調整引当金	1,180	640
売上割戻引当金	2,760	2,560
その他	5,793	5,402
流動負債合計	49,554	47,604

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,578	1,166
退職給付引当金	2,013	2,273
役員退職慰労引当金	80	62
その他	3,643	4,311
<b>固定負債合計</b>	<b>7,316</b>	<b>7,813</b>
<b>負債合計</b>	<b>56,871</b>	<b>55,417</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	6,408	6,411
資本剰余金	5,527	5,530
利益剰余金	79,677	83,143
自己株式	273	273
<b>株主資本合計</b>	<b>91,341</b>	<b>94,811</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	4,471	5,398
為替換算調整勘定	2,239	193
在外子会社の年金債務調整額	695	740
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>1,535</b>	<b>4,465</b>
新株予約権	573	568
少数株主持分	320	361
<b>純資産合計</b>	<b>93,771</b>	<b>100,206</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>150,643</b>	<b>155,624</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	58,757	64,590
売上原価	24,551	26,707
売上総利益	34,205	37,883
返品調整引当金戻入額	50	540
差引売上総利益	34,255	38,423
販売費及び一般管理費	28,626	31,008
営業利益	5,628	7,414
営業外収益		
受取利息	59	124
受取配当金	269	245
持分法による投資利益	53	97
その他	133	79
営業外収益合計	516	546
営業外費用		
支払利息	92	88
為替差損	22	50
その他	90	73
営業外費用合計	204	212
経常利益	5,940	7,749
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,382
特別利益合計	-	1,382
特別損失		
投資有価証券評価損	502	-
貸倒引当金繰入額	-	330
退職給付費用	-	168
デット・エクイティ・スワップ損失	-	999
特別損失合計	502	1,498
税金等調整前四半期純利益	5,438	7,633
法人税等	2,012	3,114
少数株主損益調整前四半期純利益	3,425	4,518
少数株主損失( )	23	5
四半期純利益	3,448	4,523

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,425	4,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	447	928
為替換算調整勘定	592	2,092
在外子会社の年金債務調整額	15	45
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	1,024	2,975
四半期包括利益	2,400	7,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,420	7,453
少数株主に係る四半期包括利益	20	40

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,438	7,633
減価償却費	2,452	2,754
のれん償却額	96	95
貸倒引当金の増減額(は減少)	11	43
賞与引当金の増減額(は減少)	8	39
役員賞与引当金の増減額(は減少)	15	15
退職給付引当金の増減額(は減少)	11	181
返品調整引当金の増減額(は減少)	50	540
売上割戻引当金の増減額(は減少)	491	200
貸倒引当金繰入額	-	330
投資有価証券売却損益(は益)	-	1,382
投資有価証券評価損益(は益)	502	-
デット・エクイティ・スワップ損失	-	999
受取利息及び受取配当金	329	369
支払利息	92	88
持分法による投資損益(は益)	53	97
売上債権の増減額(は増加)	6,628	6,404
たな卸資産の増減額(は増加)	2,063	2,396
仕入債務の増減額(は減少)	136	876
その他	2,987	3,496
小計	9,098	10,870
利息及び配当金の受取額	302	337
利息の支払額	96	91
法人税等の支払額	2,743	3,048
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,561	8,068
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	2,050	3,074
無形固定資産の取得による支出	160	267
投資有価証券の取得による支出	270	1,272
投資有価証券の売却による収入	-	2,134
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	96	-
短期貸付金の純増減額(は増加)	310	-
長期貸付けによる支出	2,263	1,006
その他	229	41
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,187	3,528

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	140	743
長期借入れによる収入	-	132
長期借入金の返済による支出	1,511	728
配当金の支払額	940	1,058
その他	17	19
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,609</b>	<b>930</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	88	1,043
<b>現金及び現金同等物の増減額（は減少）</b>	<b>1,323</b>	<b>4,653</b>
現金及び現金同等物の期首残高	15,381	19,867
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>14,057</b>	<b>24,520</b>

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	42,701	2,428	1,835	10,898	57,863	893	58,757		58,757
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	699	589	1	1,185	2,475	9	2,485	2,485	
計	43,401	3,017	1,836	12,084	60,339	902	61,242	2,485	58,757
セグメント利益 又は損失( )	4,532	46	138	985	5,609	66	5,676	47	5,628

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失( )の調整額 47百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	43,671	2,929	2,243	14,788	63,633	957	64,590		64,590
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	772	605	1	1,696	3,076	7	3,084	3,084	
計	44,443	3,535	2,245	16,484	66,709	965	67,674	3,084	64,590
セグメント利益 又は損失( )	5,569	237	336	1,623	7,291	5	7,297	117	7,414

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失( )の調整額117百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。